

水系1液・自己架橋

軒裏・天井塗替用透湿形微弾性仕上塗材

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

ノキテンくん

低臭



特長 軒裏・内部天井に最適な専用仕上塗材

- 自己架橋形特殊アクリルシリコン樹脂により、付着性と耐久性に優れています。
- 微弾性を有する塗膜は、ヘアークラックに追従し、防水性に優れています。
- 透湿性を有する塗膜は、膨れや剥がれの原因となる躯体内の水分を放散します。
- 高度なバイオ技術により、かびや藻の繁殖を抑制し、清潔感と美観を維持します。
- ローラーの施工性に優れ、飛散も少なく、乾燥も早いため、工期短縮・省力化が図れます。
- 塗替時の居住者へも配慮した、低臭タイプの水系ですので、危険物取扱いや有機溶剤中毒の心配がありません。

適用素地

打放しコンクリート

プレキャストコンクリート部材

ALCパネル

セメントモルタル

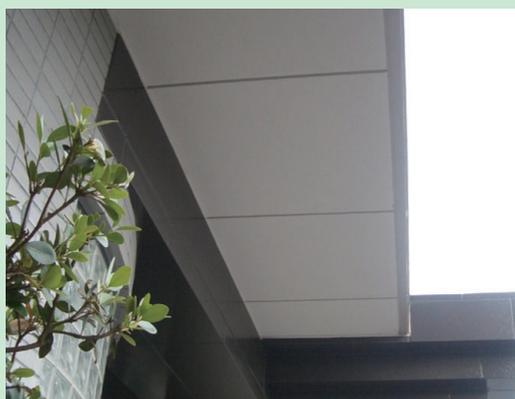
スレート

窯業系サイディングボード

適用既存塗膜

合成樹脂エマルジョンペイント

アクリルリシン



標準施工仕様

工程	塗材	調合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (23℃)	施工方法
下地処理	<ul style="list-style-type: none"> 既存塗膜の浮き・膨れ・はがれ・脆弱層などは下地に適した工法で除去する。 汚れ、塵埃やチョーキングなどは、施工環境に適した工法で除去する。 既存塗膜がはがれている場合、シーラーを塗装してから主材塗りを行ってください。(既存塗膜の段差は同一模様になる塗材で復元してください。) 高圧水洗した場合は、下地を十分に乾燥させる。 漏水が認められる場合には、事前に下地に適した工法で防水処理を施す。 					
主材塗り	ノキテンくん 清水	100 5~10	0.5~0.8	2	2時間以上 (最終養生 24時間以上)	ウールローラー塗り はけ塗り

※ 脆弱で吸い込みが著しい、又は巣穴が多い下地の場合には、カチオンシーラー EPOを下塗りしてください。

用途

一般建築物の軒裏・天井部
塗替用仕上塗材

容量

20kg

色

白および調色品
(淡彩色・中彩色)

● 注意事項

施工上の注意事項

- 下地は十分に乾燥させてください。セメント系下地の場合、レイタンス、エフロッセンスなどは除去してください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨・降霜・結露など懸念される場合は、施工を避けてください。
- 塗材は十分にかくはんしてから使用してください。
- かすれ、塗り残しなどがないように均一に塗装してください。各工程の間隔時間は、所定の時間を厳守してください。
- 所要量は、標準的な数値です。被塗物の形状や下地の状態・施工方法などによって増減することがあります。
- 施工後、結露や降雨にさらされると、塗膜にシミやムラを生じることがありますので、冬期や雨天の塗装には十分ご注意ください。
- 段差、巣穴、ひび割れ及びボード類のジョイント部などはラフトンフィラーなどで調整してください。(外部でのパテ使用は不可)
- 施工後のローラー、はけなどの用具は早めに水洗いを行ってください。
- シーリング面への施工は、シーリング材の種類、養生期間により、塗膜にはがれ・われ・汚染を生じることがあります。詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
 - ・防塵マスク・頭巾・保護メガネ・長そでの作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
 - 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
 - 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
 - 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
 - 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
 - 容器は密栓し、0℃以上40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
 - ・雨水や直射日光の当る場所・高温多湿の場所・潮風の当る場所・凍結の恐れのある場所
 - 捨てるときには、産業廃棄物として各自治体の処分方法に従って処理してください。
- 詳細な内容が必要なときには、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- カタログに記載されていない下地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの営業所へお問い合わせください。



営業本部 ☎ 510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎ 059-397-2187 FAX 059-397-6191
技術本部 ☎ 510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎ 059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎ 0133-60-6311 東京支店 ☎ 03-5661-2211 名古屋支店 ☎ 052-411-1255
大阪支店 ☎ 072-862-1601 広島支店 ☎ 082-277-1116 四国支店 ☎ 0877-24-4621
九州支店 ☎ 092-938-0071

取扱店